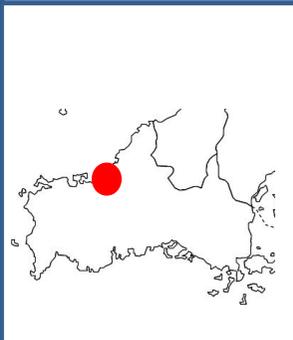


- 平成25年度より農泊の受入を開始。設立当初より萩市に設置していた事務局を令和元年度より民間企業のはぎまえ698合同会社に移管し、民間主体で協議会運営を行っている。農泊受入の特徴として、萩のまちの特徴でもある歴史と自然の双方を味わえるコンテンツ提供を心掛け受入を行っている。現在の受入家庭軒数は30軒程度、インバウンドにおいては20軒と、徐々に増えてきている。近年は、関係人口創出に向けたツアーやイベントでも受入を行う。

山口県萩市



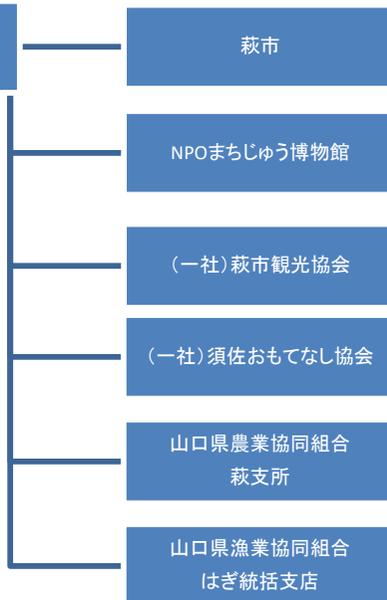
【採択年度】
平成29年度

【事業実施期間】
平成29～30年度



【実施体制】

萩市ふるさとツーリズム推進協議会
(事務局 はぎまえ698合同会社)



【特徴的な取組】

- 多様な農泊の受入
(インバウンド・教育旅行・個人客・関係人口)
- 民間組織の事務局運営
(2019年より行政から民間へ事務局を移管)

【取組内容】

2013年当初より教育旅行の受入が中心であったが、2023年よりインバウンドの受入が中心に。

2019年、海外の旅行会社と契約を結び本格的なインバウンドの定期ツアーの受入を実施。コロナ禍を除き、年間30本以上のツアー数、300名以上の受入を行っている。2025年以降新たな海外旅行会社との契約を結び受入人数も増加予定。

個人旅行向けの受入についても強化。コロナ禍以降、徐々に農泊受入の問い合わせが増えてきている。これらを踏まえ、これまで団体旅行偏重だった予約方法や情報発信方法等を見直し、より個人客に合わせた受入体制を構築。

個人客の要望に合わせた受入先を選定し、満足度の高い受入を目指し、最終的にはリピーターの確保や満足度の高い口コミによる集客に繋げていく。

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約